

科目	音楽 I	単位数	2	学年	1	学級	A~I 選択者	学科	普通科 国際教養科
----	------	-----	---	----	---	----	------------	----	--------------

学習の到達目標	<p>○音楽に対する興味・関心を深め、意欲的に取り組む態度を身につけるとともに、生涯にわたって音楽を愛好する心情を育てます</p> <p>○音楽的な感性を高め、創造的な表現の能力と鑑賞の能力を養います。</p> <p>○様々なジャンルの音楽文化について、その歴史的・文化的な意味と価値の理解を深めます。</p>
使用教科書 副教材等	○高校音楽 I Music View (教育出版)

学期	月	学習項目	学習内容の説明
前期	4	授業ガイダンス	音楽 I の学習内容、授業の受け方、評価方法を理解します。
	5	歌唱・器楽 ○発声法 ○愛唱歌の表現 ・日本の歌 ・世界の歌	歌唱・器楽 歌唱については発声の基本的な方法(声や息の支え、レガート唱法、母音唱法)を学習すると共に、声の出しやすい楽曲を生徒の実態・実情に合わせて選曲していきます。 リコーダーは楽器の扱い方、演奏姿勢、呼吸法、指使い、タンギング奏法、レガート奏法等、基本的な奏法を習得します。
	6	鑑賞 ○小曲の鑑賞	
	7	創作 ○リズムの創作	
	8	○リコーダーの表現	
9	・基本奏法の学習 ・リコーダー曲の演奏		
後期	10	○外国語曲の歌唱表現	後期の声楽については外国語の歌に挑戦して行きます。歌詞の意味や発音の特徴を理解して表現出来るよう学習していきます。 三線は楽器の扱い方、演奏姿勢、メロディーの弾き方の基本を学習し、最終的には、歌いながら演奏できることを目指します。
	11	○ミュージカル鑑賞	
	12	○コードの連結	
	1	○三線の表現 ・基本奏法の学習 ・三線楽曲の演奏 ・三線の弾き歌い	
	2	○郷土の音楽の鑑賞 ○短い楽曲の創作	
3	○合唱の表現	合唱曲については、授業クラスの実態を踏まえ選曲していきます。	
評価の方法	音楽への関心・意欲・態度	○音楽上の幅広いジャンルに対して興味・関心を高めているか。 ○意欲的に楽曲演奏に取り組むと共に、アンサンブル授業において、周囲との協調性と積極性が見られるか。	
	音楽表現の創意工夫	○楽曲から感じ取ったイメージを、自らの音や言葉で表現できているか。	
	音楽表現の技能	○鑑賞教材の演奏法、文化的背景を理解し楽曲を聴き取っているか。	
	鑑賞の能力	○楽曲・音楽ジャンルの特質を的確に捉え理解しようとしているか。	
	評価方法	○演奏活動への参加の仕方や授業中の態度 ○プリント、レポート等の提出状況 ○出欠状況や遅刻・忘れ物状況 ○楽器・楽譜の管理状況 ○実技テスト	
担当教諭から	ジャンルにとらわれることなく様々な音楽を扱っていきますので、自分の興味あるものだけに固執することなく、大きな視野に立って音楽の世界をとらえていけるようにしましょう。評価は結果だけを見るのではなく、これだけ頑張ったという努力の過程を大切にしていきますので、1 時間 1 時間の授業を大事にし意欲的に取り組んで下さい。その中で新たな「音を楽しむ」要素を各自見つけていって欲しいと思います。		